

礼拝式次第

2021. 3. 7. 四旬節第3主日（紫）

司式・説教：笠原光見

讃美歌	381 番【光の主よ】
み名による祝福	司) 父と子と聖霊のみ名によって。 会) アーメン
罪の告白	司) 父なる全能の神よ。 全員) 私たちは生まれながら罪深く、けがれに満ち、思いとことばと行いとによって、多くの罪を犯しました。私たちはみ前に罪をざんげし、父なる神の限りないあわれみにより頼みます。 司) あわれみ深い神よ。 全員) み子イエス・キリストのゆえに、すべての罪をゆるしてください。聖霊によって、主と主のみ旨についてのまことの知識を与え、また主のみことばへの従順な心を私たちに与えてください。
ゆるしの言葉	司) 天の父、全能の神は、私たちを憐み、私たちのためにその独り子を死に渡し、これによって、すべての罪をゆるしてくださいました。また、み名を信じるものには、神の子となる資格を与え、聖霊を注いでくださいます。信じて洗礼を受ける者は救われます。主よ、私たちすべての者に、この恵みをお与えください。 全員) アーメン
聖書朗読	ヨハネによる福音書 2:13~22 / 新 166 頁
説教	ハートに火をつけて/ 笠原光見
信仰告白 (使徒信条)	天地の造り主、全能の父である神を、私は信じます。そのひとり子、私たちの主イエス・キリストを私は信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちから復活し、天にのぼられました。そして全能の父である神の右に座し、そこから来て、生きている人と死んだ人とをさばかれます。聖霊を私は信じます。また聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン
祈りのとき	(しばらくの時、皆様それぞれの心にある祈りを神さまに注ぎだしましょう)
主の祈り	天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。み心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日ごとの糧を今日も与えたまえ。われらに罪を犯すものを、われらがゆるすごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。われらを試みに会わせず、悪より救い出したまえ。国と力と栄とは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン

祝福	司) 主があなたを祝福し、あなたを守られます。 主がみ顔をもってあなたを照らし、あなたを恵まれます。 主がみ顔をあなたに向け、あなたに平安を賜わります。 父と子と聖霊のみ名によって 全員) アーメン
讃美歌	339 番【イエスキミは恵みの主】

讃美歌 381 番【光の主よ】	讃美歌 339 番【イエスキミは恵みの主】
<p>1. 光の主よ われを照らし 心のやみをば 払いたまえ。</p> <p>2. 主のみ胸は 安きすみ家、 恵みの光に 神を仰ぐ。</p> <p>3. 神の光 深き愛を われらの心に 満たしたまえ。</p> <p>4. 救い主と 父、み霊を 貧しき心に 示したまえ。 アーメン</p>	<p>1. イエスキミは恵みの主、 罪びとあわれみたまう。 道なる主、 義なる主は ひかりといのちを示さん。 朝日のごとくに 現われ来たりて、 死のくさり解きはなち 罪びと生かしめたもう。</p> <p>2. 新しき日をたもう 恵みの主をほめまつれ。 イエスキミは罪の身を み国へみちびきたもう。 十字架のめぐみを 信仰もて受くれば、 まことなる安らぎと ときわのいのちぞあふれん。</p>